

【お問い合わせ先】

キャタピラー

渉外・広報室

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-7-1

TEL: 045-682-3576 FAX 045-682-3690

本資料はCaterpillar米国本社が2021年7月30日に発信したプレスリリースを日本語に翻訳し、みなさまのご参考に提供するものです。
本資料の正式言語は英語であり、その内容については英語が優先します。

Caterpillar が 2021 年第 2 四半期業績を発表

- ・売上高は29%増の129億ドル
- ・1株当たり利益は2.56ドル、調整後1株当たり利益は2.60ドル
- ・強固なバランスシート、配当と自社株買いによる計8億ドル相当の株主還元を実施

(単位：10億ドル、但し1株当たり利益除く)	第2四半期	
	2021	2020
売上高	\$12.9	\$10.0
1株当たり利益	\$2.56	\$0.84
調整後1株当たり利益	\$2.60	\$1.27

(イリノイ州ディアフィールド発) ——Caterpillar Inc. (NYSE: CAT) は本日、2021年第2四半期の業績を発表しました。売上高は129億ドルで、100億ドルだった前年同期に比べ29%増加しました。これは、製品・サービスに対するエンドユーザー需要が高まったことに加え、ディーラー各社の在庫変更の影響を受け、販売台数が増加したことが主因となっています。ディーラー各社は、在庫削減量を前年同期に比べて縮小しました。営業利益率は13.9%（前年同期：7.8%）、1株当たり利益は2.56ドル（前年同期：0.84ドル）、調整後1株当たり利益は2.60ドル（前年同期：1.27ドル）でした。なお、今四半期および前年同期の調整後1株当たり利益からは、事業再構築費用が除外されています。さらに、前年同期の調整後1株当たり利益からは、年金債務支払い後の再測定による1株当たり0.19ドル分の損失も除外されています。GAAP以外の財務測定値に対応するGAAP測定値の調整については、13ページの付属資料をご覧ください。*1

上半期の全社営業キャッシュフローは40億ドルでした。今四半期は、配当の引き上げと自社株買いの再開で、計8億ドル相当の株主還元を実施しました。結果、今四半期末の全社現金残高は108億ドルとなりました。

Caterpillar の Jim Umpleby（アンプレビー）会長兼 CEO は次の様に述べています。「世界中の献身的な社員が引き続きお客様へのサービスに注力し、『将来的な収益性の高い成長』に向けた自社戦略を実行しています。当社が事業展開する全地域と主要 3 セグメントで売上高が増加したことは、当社のエンドマーケットの状況が継続的に改善していることを示しており、勇気づけられます」。

*1

<https://www.caterpillar.com/content/dam/caterpillarDotCom/releases/2q21/2q21-caterpillar-inc-financial-results.pdf>

以上

キャタピラー社について：

Caterpillar Inc.は、1925 年以来お客様がより良い世界を構築できるよう支援してきました。持続可能な進歩を可能にし、すべての大陸で前向きな変化を推進しています。2020 年の売上は 417.5 億ドルで、Caterpillar は建設及び採掘設備、ディーゼルおよび天然ガスエンジン、産業用ガスタービン、ディーゼル電気機関車の世界有数のメーカーです。製品ライフサイクル全体を通じて提供されるサービス、最先端のテクノロジー、および数十年にわたる製品の専門知識により、Caterpillar は他とは一線を画しは、お客様の成功を支援する卓越した価値を提供します。同社は主に、建設業、資源産業、エネルギー・運輸の 3 つの主要セグメントを通じて事業を展開しており、金融商品セグメントを通じて金融及び関連サービスも提供しています。また、1963 年以来、Caterpillar 社は、半世紀以上にわたって、日本に重要な拠点を構えています。特に、主力製品である油圧ショベルの開発・製造をリードし、時代の先端を行く製品と技術を世界へ発信しています。